

発表日：2025年7月16日

研究開発項目②

【事業の目的・目標】

□ 目的

具体的には、根株径、根株高及び根株形の差異による萌芽更新後の資源量の変化並びに萌芽整理の有無による萌芽更新の確実性及び経済性を検証することにより、低コスト高生産性の萌芽更新手法を開発する。

目標

将 来 目 標：伐期20年、収量材積96.6m³

【2024年度の主な成果】

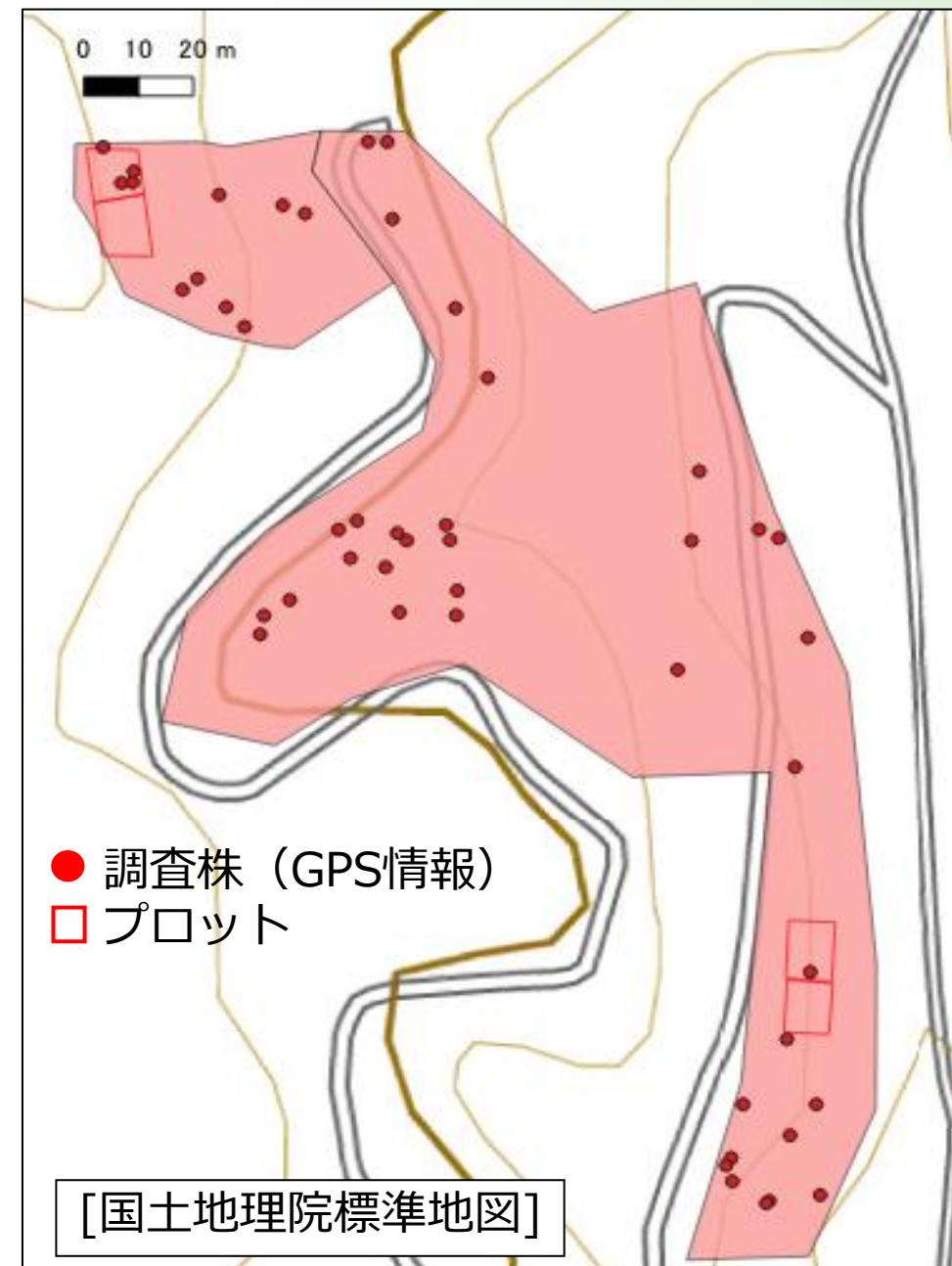
□広葉樹チップ粒度最適化

- ・設備発注 : 2024年11月発注⇒2025年7月納品予定

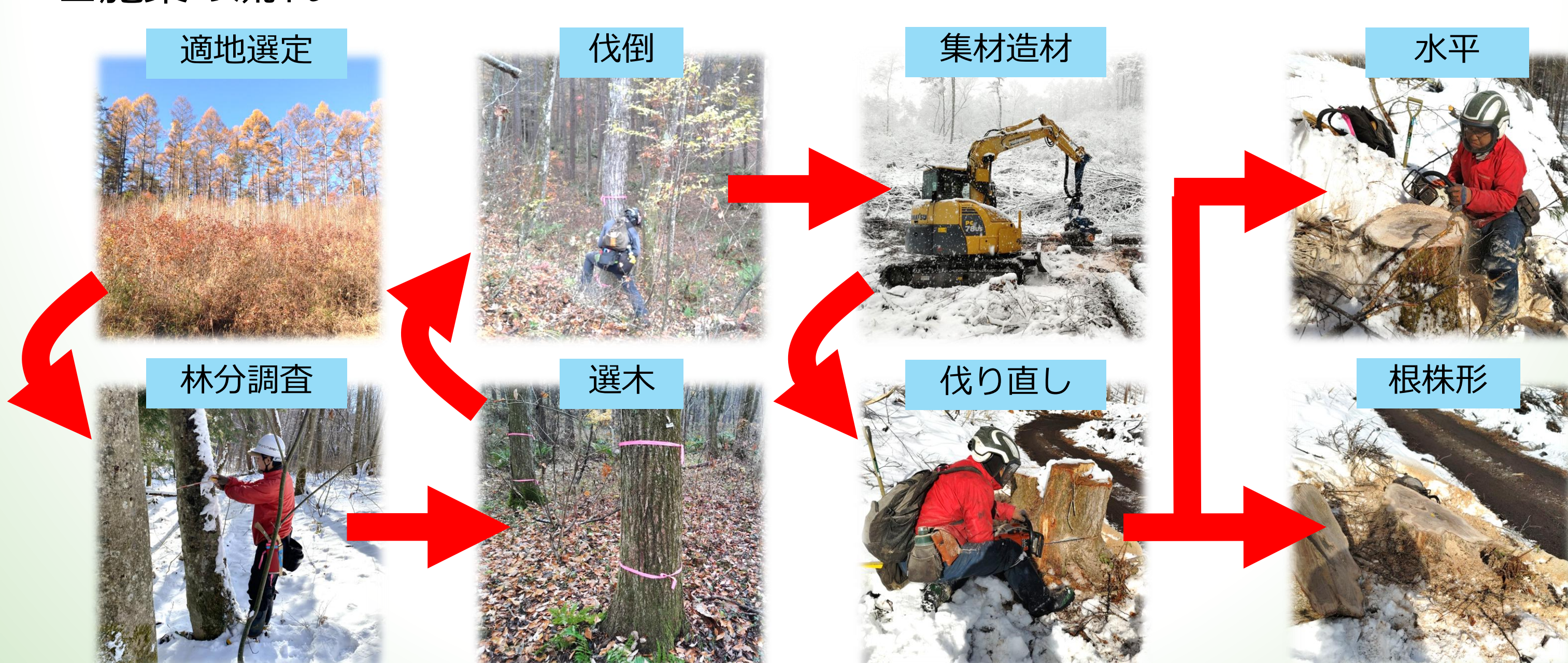
☐ 林地枝条等燃料チップ化

検証項目	事業期間内目標	将来目標
広葉樹チップ粒度最適化	P26orP32(<8mm含)	P26orP32(<8mm無)
林地枝条等燃料チップ化	スクリーンサイズ最適化 減容効果、コスト比較等	小型ボイラー供給 ブレンド供給
乾燥コンテナによる乾燥	乾燥後、35%以下	地域内ボイラー供給

□林分調査及び選木結果



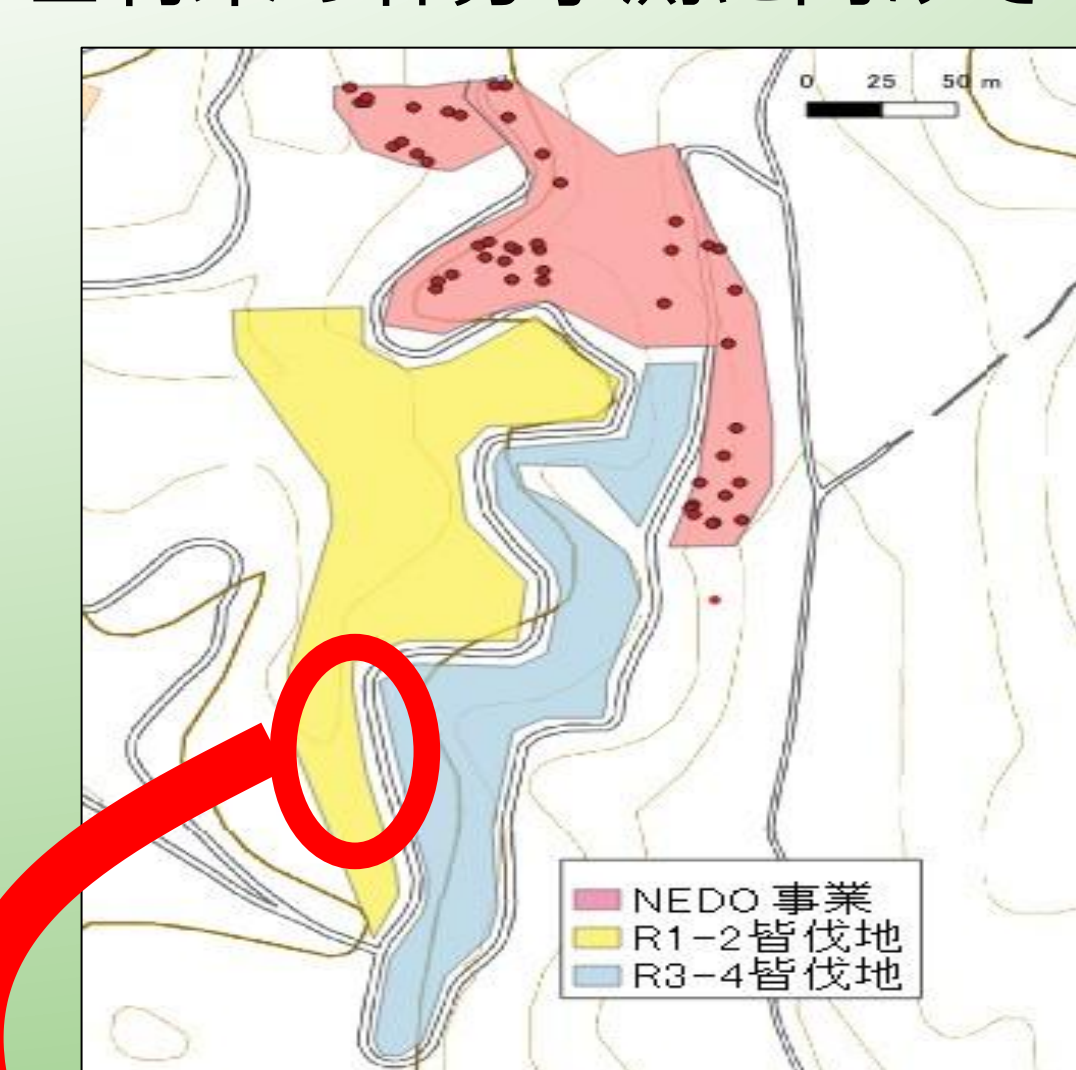
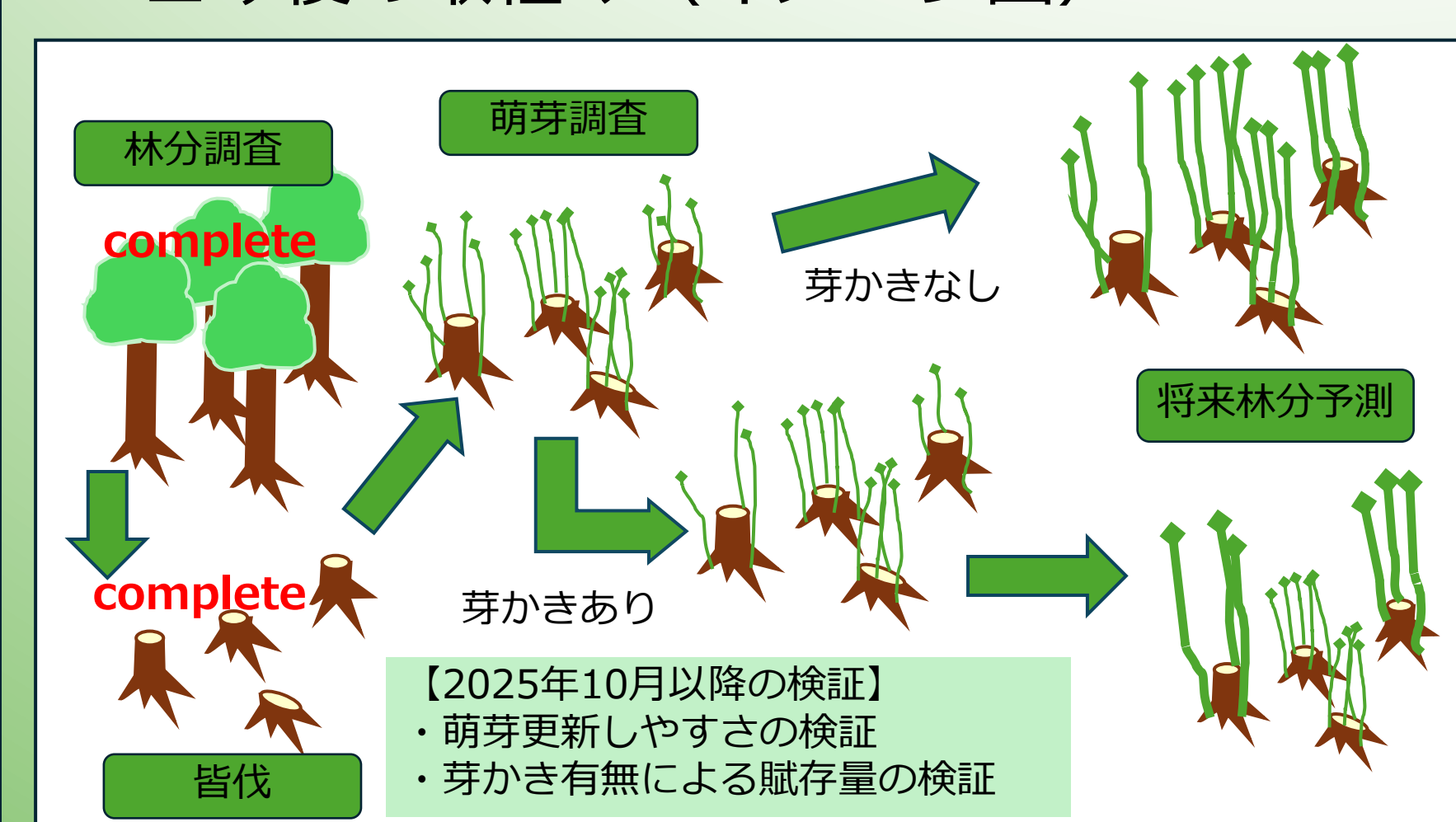
□施業の流れ



【課題と今後の取組】

□今後の取組み（イメージ図）

□将来の林分予測に向けて



□研究スケジュール

[illegible]

□ 隣接する施業地で萌芽状況良好
(伐採後2～5年経過)
→萌芽ポテンシャル(実生発生含)高

- 将来林分予測に向けた追加調査
 - ※既施業地での萌芽等整理
 - ※整理後の状況確認

□乾燥コンテナによる乾燥

- ・乾燥試験検証：2025年6月～実施予定

【課題と今後の取組】



□研究スケジュール

研究開発項目	進捗	FY2023				FY2024				FY2025			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
② 広葉樹チップの粒度最適化の開発	△				課題検証 機器選定 設備発注				設備納品 試運転 粒度分布測定				実証・粒度分布測定（計画）
					課題検証				機器選定				設備発注（実績）
② 林地残条・剪定枝の燃料チップ化技術の開発	○				課題検証 機器選定 設備発注				設備納品 試運転				実証（計画）
					課題検証 機器選定				設備発注・納品 試運転				実証（実績）
② 広葉樹チップ等の乾燥技術の開発	○				課題検証				仕様検討				試運転・実証（計画）
					課題検証・仕様検討（実績）								

□ 実用化・事業化の見通し

- ・小型バイオマスボイラーを用いた熱エネルギー供給事業に関する三者協定を締結
(組合 - 極東開発工業 - 松川村)
- ・木質チップの供給の他、枝条チップの供給も視野に入れた検証を計画



連絡先：北アルプス森林組合 中山 隆博
MAIL: alpstfa@jforest-kitaalps.jp